

# 介護現場のICT・次世代 介護機器等の導入の 実践検証に学ぶ

## 科学的介護におけるイノベーションの応用

よりよい介護福祉実践を展開していくためには、要介護者に最も有効な、科学的に実証された方法を用いて行われる必要があります。国は、科学的手法に基づく分析を進め、エビデンスを蓄積し活用する必要があるとして、LIFE(Long-term care Information system For Evidence「科学的介護情報システム」)を導入しました。また、科学的介護の応用によって、自立支援や重度化予防が図られるとして、ICT(情報技術)・ロボット技術の応用による次世代介護機器等の利用促進が進められています。

イノベーション(技術革新)の進化は、社会に利便性をもたらすと考えますが、私たちの日々の生活の豊かさや介護実践の進化(深化)のためには、どのように応用して行けばよいのでしょうか。

今回の公開講座では、介護現場にICT・次世代介護機器等を導入し、実践検証を行っている方々からのご講演やご報告をうけ、介護の質の向上に求められる具体的な課題について検討できる機会にしたいと思います。

2022年

**2月20日(日)**

13:00~16:00

オンライン開催

参加費 無料

事前申し込みはこちらから



申込締切  
2022年  
2月13日(日)

講演 介護現場における  
問題発見型研究としてのユーザスタディ  
東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系  
准教授 杉原太郎氏

実践  
報告 次世代介護機器導入から見てきたこと  
(医)桐光会 介護老人保健施設フロリアル調布  
介護長 小幡真也氏

見守り介護ロボット使用の実践例から  
(福)新生会 榛名憩の園  
ユニットリーダー 沼崎翔平氏

ディスカッション  
よりよい介護福祉実践を展開していくために  
ファシリテーター  
白梅学園大学 教授 森山千賀子  
コメンテーター  
東洋大学 准教授 八木裕子

お問合せ：日本介護福祉学会 関東地区公開講座事務局

Email: [kaigokanto2021@gmail.com](mailto:kaigokanto2021@gmail.com) (担当:森山千賀子・堀崇樹)